

施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意…取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

- FIX部へのガラス入れは、障子を建込む前に行ってください。
- グレイジングチャンネル・後付けビードは、別売りで用意しています。
- 組立ては、必ず指定のねじを使用してください。
- ラッチレバー・内倒しラッチ部に粉塵が入ると作動が重くなりますので、工事期間中は養生をお願いします。

▲注意

- 障子を建込む際、内倒しラッチのバーを必ずサッシ縦枠のガイド部に入れてください。入っていないと障子が倒れる恐れがあります。(D部詳細図参照)
- 建込み後、障子の上部を持ち、手前に引き、外れないことを必ず確認してください。
- 枠の組立ての際は、雨漏れの原因にならないようにコーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すように位置を合わせて、ねじ止めしてください。ねじ止め後、緩みやガタツキがないか確認してください。

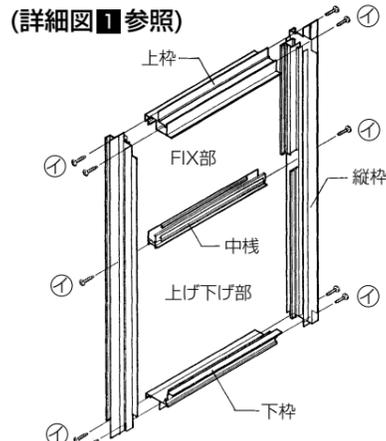
■ねじ一覧表

※図中①～④はねじの種類を表す。

①	②
バインドタッピン ねじφ4×20	ナベタッピン ねじφ4×20

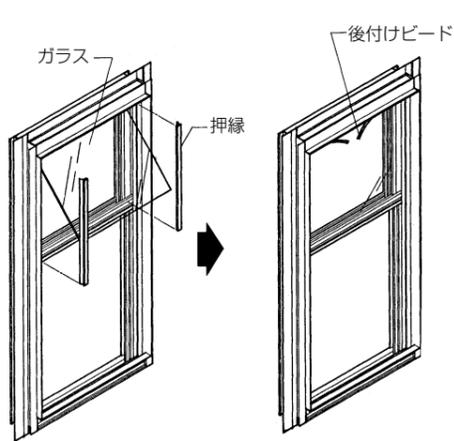
組立て順序

1. 枠の組立て



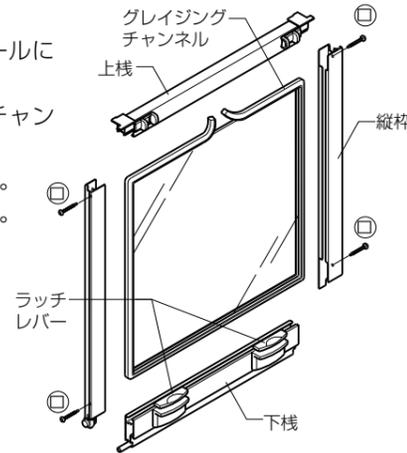
2. FIX部へのガラス入れ

- ※ガラス寸法は、ダンボールに表示してあります。
- ① ガラスを入れ、押縁を取り付けます。
 - ② 後付けビードを回します。



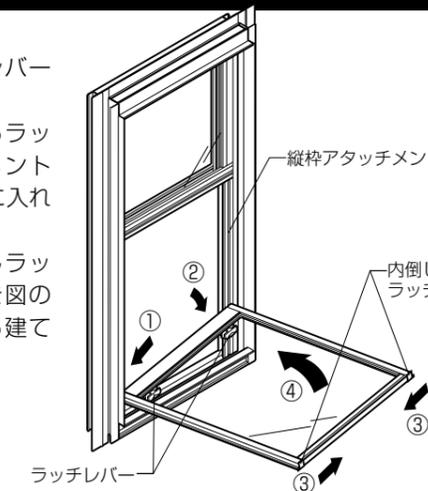
3. 障子の組立て

- (詳細図3参照)
- ※ガラス寸法は、ダンボールに表示してあります。
- ① ガラスにグレイジングチャンネルを回します。
 - ② 上・下線を差し込みます。
 - ③ 右・左縦枠を固定します。



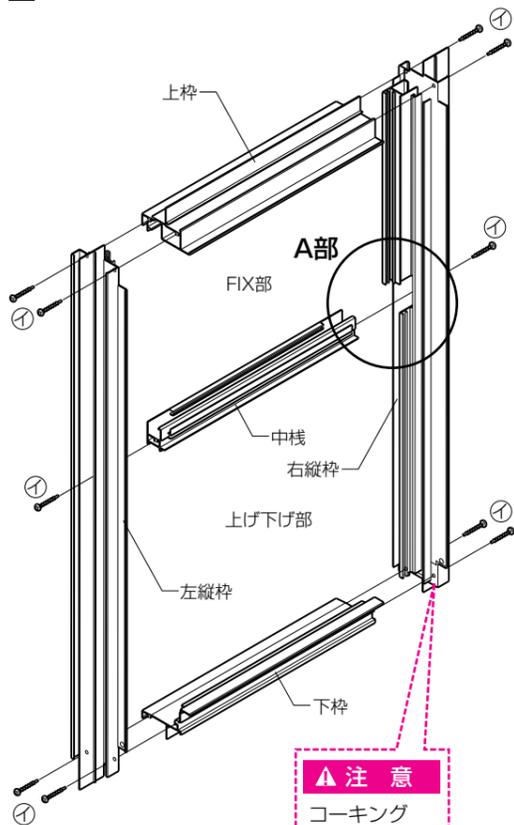
4. 障子の建込み

- (詳細図4参照)
- ① 障子を傾け、ラッチレバーを押し下げます。障子下部に付いているラッチ棒を縦枠アタッチメントの下から2番目の丸穴に入れます。
 - ② 障子上枠両端の内倒しラッチを引き寄せ、障子を図のように回転させながら建て込みます。



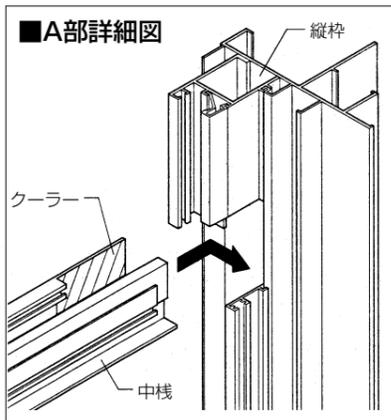
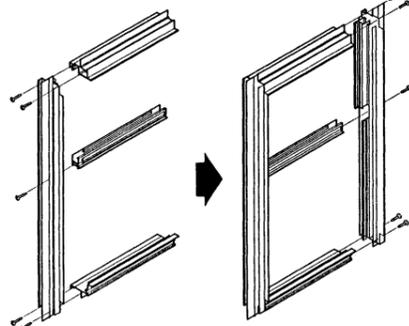
■詳細図

1 枠の組立て



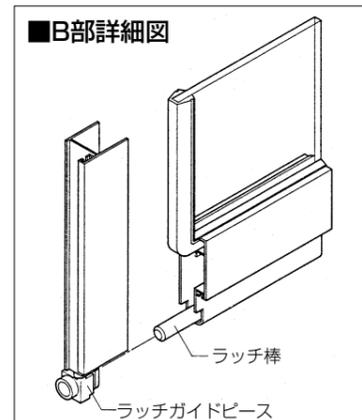
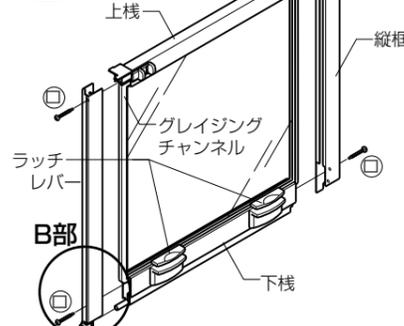
▲注意
コーキングシーラー
(下枠を確実に合わせます。)

●組立て順序



※コーキングシーラーがはがれないように中棧は矢印のように組立ててください。

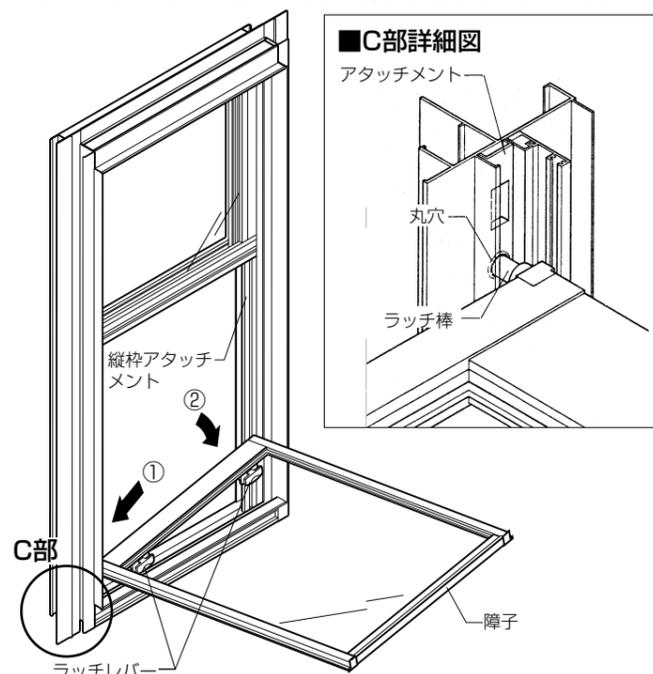
3 障子の組立て



※ラッチ棒を、ラッチガイドピースに確実にしてから固定し、ラッチレバー、ラッチ棒が作動することを確認してください。

4 障子の建込み

- ① 障子下部に付いているラッチ棒の出し入れは、ラッチレバーの操作で行います。障子を傾け、ラッチレバーを押し下げながら矢印のような順序でラッチ棒を縦枠アタッチメントの下から2番目の丸穴に入れます。
- ※ラッチ棒は、必ず下から2番目の丸穴に入れてください。この位置以外では障子を立て起こした際に、内倒しラッチのバーが縦枠ガイド部に入らなくなり、障子が建て込めなくなります。



- ② 障子上枠両端の内倒しラッチのつまみを内側(矢印の反対方向)に引き寄せ、バーを引っ込めた状態で障子を立て起こし、外側に押し付けます。内倒しラッチのつまみをガイド部にはめ込みます。(つまみは、緑色の表示が見えるまで、矢印方向に押し込んでください。)押し込めない時は、①からやり直してください。

▲注意…障子の上部を持ち手前に引き、外れない事を必ず確認してください。

